

事業提案概要 ~ 大阪再生のための情報基盤整備に向けて ~

提案背景

- ・大阪の産業・都市構造の転換
- ・ITを活用した大阪都市圏の再生
- ・新たな雇用・産業需要創出

提案目的

- ・大阪のITポテンシャルを生かすための情報基盤整備
- ・電子自治体サービスを先導的に提供するための基盤整備
- ・東京一極集中によるリスクを分散し、日本全体のIT利用環境の信頼性向上
- ・先進的技術に関する実証実験の場の提供

~なぜ大阪なのか~

- ・複数のIX事業者が進出
平成14年1月JPNAP
4月JPIXサービス開始
- ・ブロードバンドネットワークの広がり
道路管理用光ファイバーの開放
FTTHサービス開始(NTT西日本、ケイ・オプティコム)
- ・自治体広域連携の促進
オーパス協議会(15団体参加)
大阪電子自治体推進協議会(平成14年度4月発足)
- ・IPv6への先進的人材・技術の集積
奈良先端大、大阪大学、サイバー関西
- ・ITポテンシャルを有する都市

施設整備による即効性、活用可能性が高い

~大阪なら何ができるか~

- ・広域連携による電子自治体サービスの展開
- ・IPv6等先進的技術を生かした情報サービスの提供

大阪再生のための 地域IT拠点づくり

本事業推進にあたっての期待・効果

- ・ブロードバンドサービスの展開に向けたIT関連企業の需要創出
企業誘致
- ・e-ふちよう、電子自治体等先進的モデル自治体の実現を推進
- ・大阪都市圏における先進的IT都市形成を促進

公共データセンターの整備の必要性

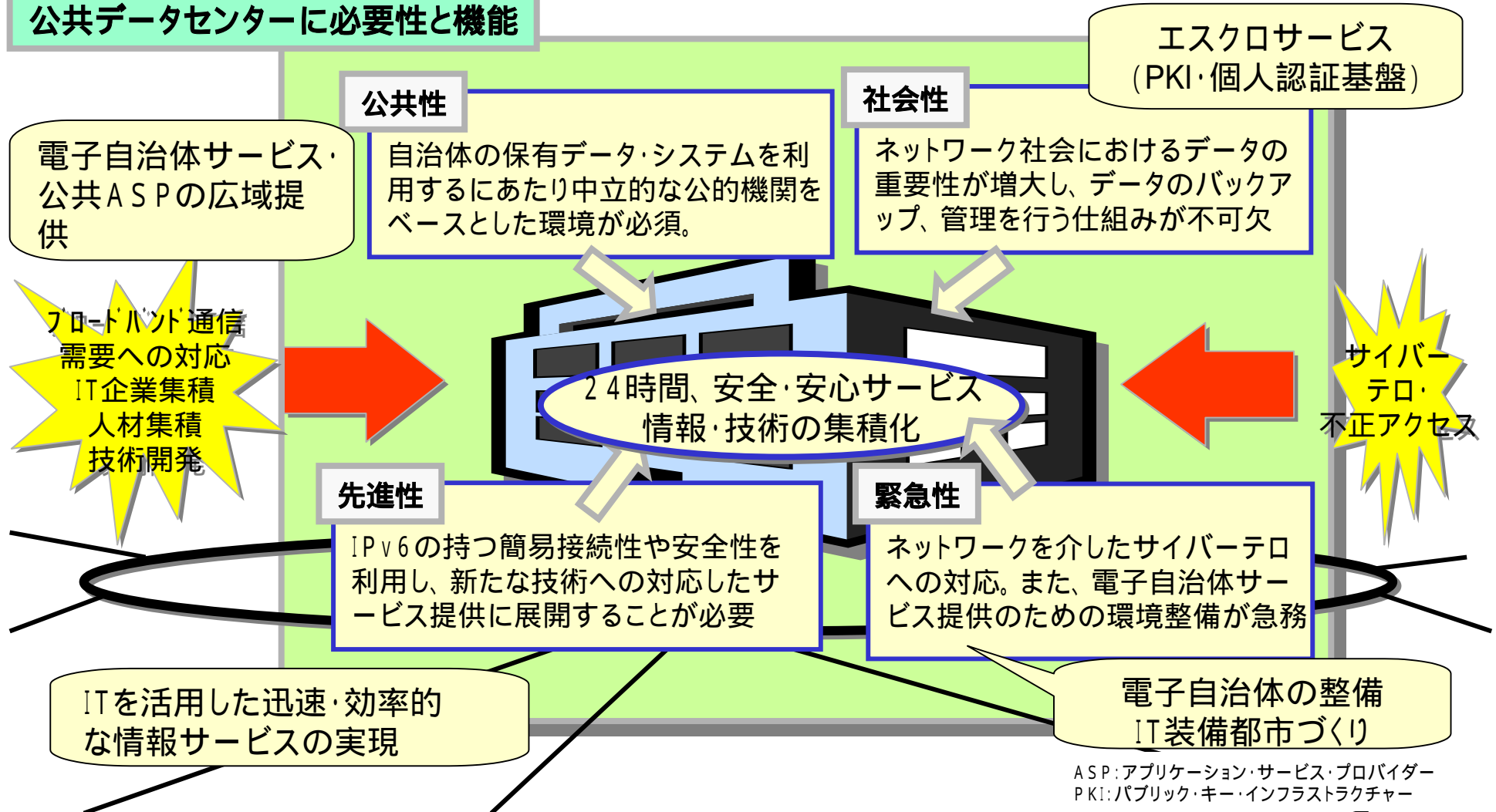
IT都市形成に向けた課題

電子サービスを普及展開する上で、サーバを保有・運用が煩雑。サービスを効率的に提供するために新たな技術の導入・展開が必要。ブロードバンド時代に対応し、情報の安全性・信頼性のある管理運営

公共データセンターの効果・展開

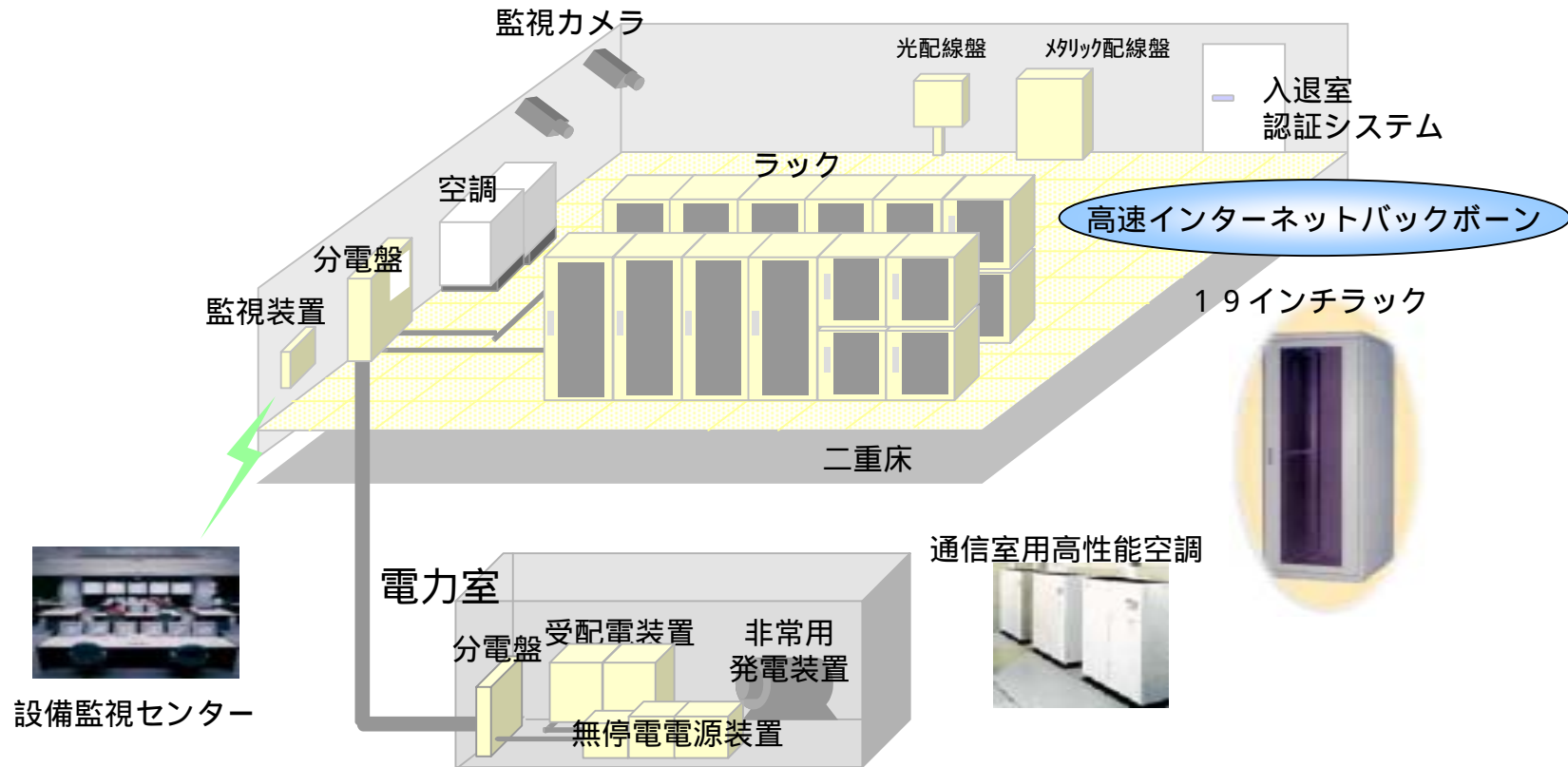
24時間保守運用を行う信頼性の高い電子サービスを推進。必要なデータに関する消失等の危険回避、リスクの分散化。ASP等多数のアクセスに対応したサービスの効率的な提供

公共データセンターに必要性と機能



大阪府データセンターのファシリティ概要

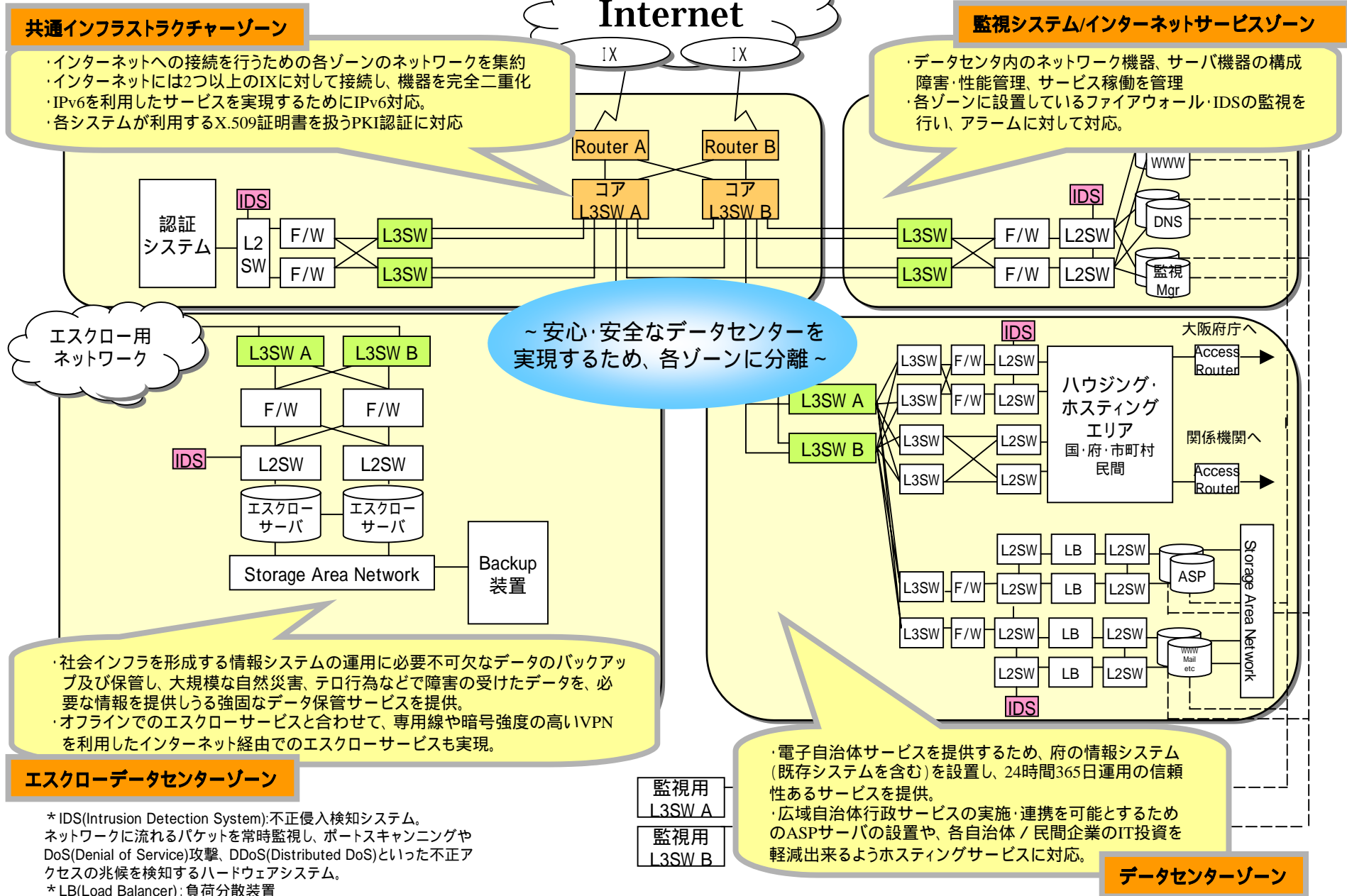
【参考】



ファシリティ	耐震建築、二重床、19インチラック、空調設備、無停電電源装置、非常発電等
セキュリティ	入退室認証システム、監視設備等
インターネット接続	高速コネクティビティサービス（高速バックボーン、IX、主要ISPへの直接接続）

大阪府 I P v 6 対応データセンター構成図

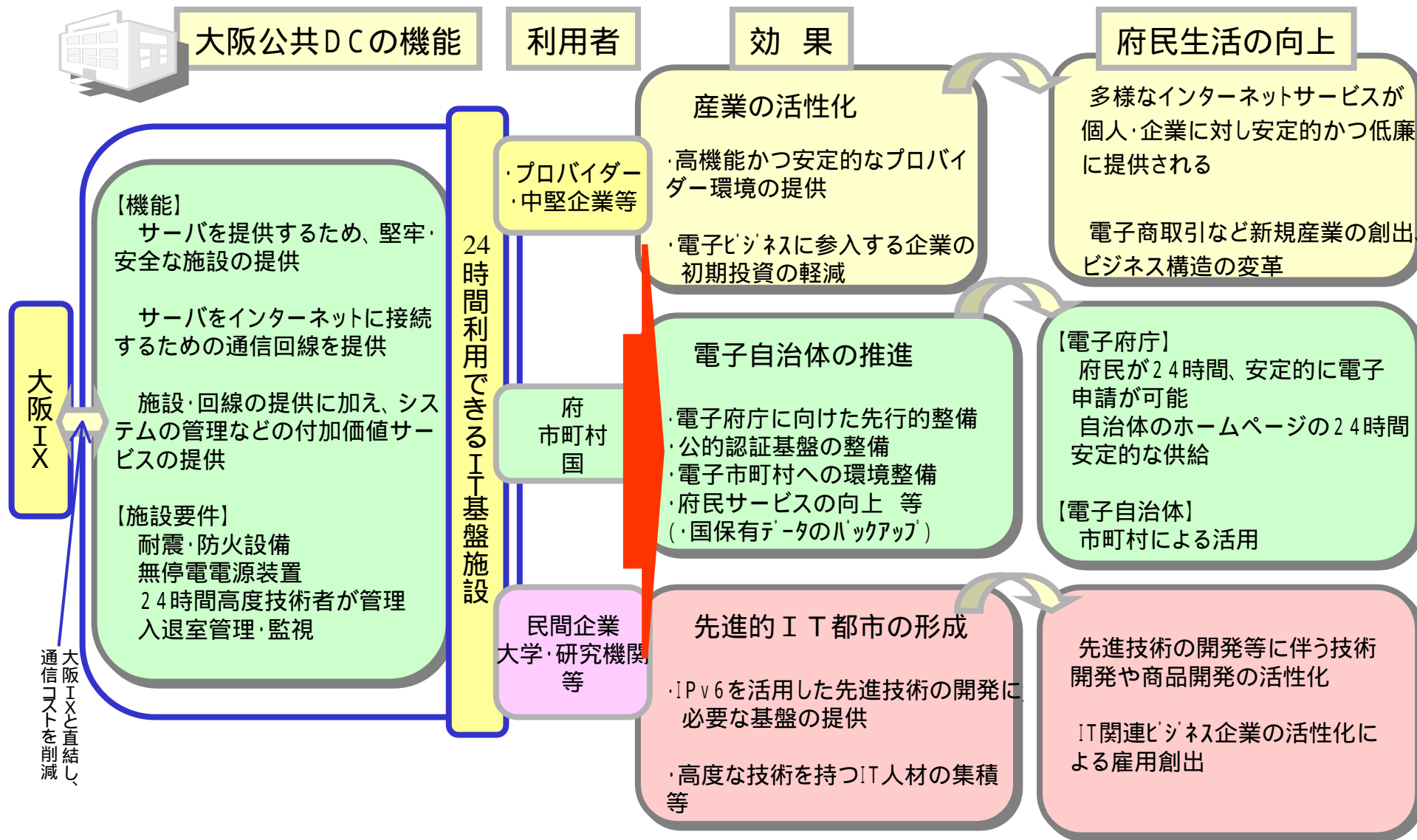
[参考]



* IDS(Intrusion Detection System):不正侵入検知システム。
ネットワークに流れるパケットを常時監視し、ポートスキャンやDoS(Denial of Service)攻撃、DDoS(Distributed DoS)といった不正アクセスの兆候を検知するハードウェアシステム。
* LB(Load Balancer): 負荷分散装置

大阪における地域IT拠点施設整備の効果について

府民サービスの向上のため、インターネット社会の生活基盤となるデータセンターを国の補助スキームを利用して整備



大阪都市圏におけるITポテンシャルマップ

【参 考】

